

問一 二重傍線部 a、e のカタカナは漢字にし、漢字はその読み方を書きなさい。(二〇点)

【解答例】

a 成仏 b ほつがん c 典型 d 露骨 e 転回

問二 傍線部①に「もつとも彼女も、物語に完全にはまりこんでしまうことには、いささかの後ろめたさを感じていたようだ」とありますが、物語と仏教は当時の人々にどのように見られていましたか。三〇字以上四〇字以内で説明しなさい。(二〇点)

【解答例 1】

物語は現実より低く見られており、仏教は現実より高い価値が付与されていた。(36字)

【解答例 2】

物語を読むことは悪であり、仏典を習うことは善であると見られていた。(33字)

問三 傍線部②に「物語と仏教はまったく相反するかと言うと、それも微妙なところがある」とありますが、「微妙なところがある」とはどのようなことを指していますか。三〇字以上四〇字以内で説明しなさい。(二〇点)

【解答例 1】

物語と宗教の世界は、いずれも現実を離脱するという方向で一致すること。(34字)

【解答例 2】

物語と宗教の世界は、同じように現実を離脱しつつも、相対立すること。(33字)

問四 傍線部③の「この度は帰りて、後に迎へに来む」の「む」について、次の例にならって、文法的に説明しなさい。(五点)

(例) 愚かなる物也      ナリ活用の形容動詞「愚かなり」の連体形活用語尾

飾りたる物也      存続の助動詞「たり」の連体形

【解答例】

意志の助動詞「む」の終止形

問五 空欄 A は、漢文の書き下し文が入ります。その原文は「定結ニ輪廻之罪根一、悉随ニ奈落之劍林ニ」です。これを書き下しなさい。また、ここに

用いられている表現技法を答えなさい。(一五点)

【解答例】

(書き下し文) 定めて輪廻の罪根を結び、悉く奈落の劍林に墮つ (一〇点)

(表現技法) 対句 (五点)

問六 傍線部④の「源氏供養」とは、本文によると、どのような目的で何をするのでしょうか。五〇字以上六〇字以内で説明しなさい。(一五点)

【解答例】

『源氏物語』の制作者の亡霊と読者を地獄行きから救済するため、『法華経』を書写し、これに『源氏物語』の各巻を加えること。(59字)

問七 傍線部⑤の「虚誕を以て宗と為す」を、「虚誕」と「宗」をわかりやすい言葉に言い換えて、現代語に訳しなさい。(一〇点)

【解答例】

つくりごと(虚構・うそ)をその根本(中心的なもの・価値あるもの)としている。

問八 傍線部⑥の『今鏡』について、次の語をすべて用いて、四〇字以上五〇字以内で説明しなさい。(一五点)

四鏡 歴史物語 紀伝体

【解答例1】

紀伝体で書かれた歴史物語の一つで、『大鏡』『水鏡』『増鏡』と併せて「四鏡」と呼ばれる。(43字)

【解答例2】

「四鏡」と呼ばれる歴史物語の一つで、紫式部に仕えた老女の語りが紀伝体で書かれている。(42字)

【解答例3】

『大鏡』に始まる「四鏡」と呼ばれる歴史物語の一つで、編年体ではなく紀伝体が用いられている。(45字)

問九 傍線部⑦の「おほかた人の実の情といふ物は女童のごとく未練に愚かなる物也」を、現代語に訳しなさい。(二〇点)

【解答例】

概して人間の本当の感情(情け)というものは、少女のように熟練せず愚かなものである。

問十 傍線部⑧に『源氏』を男の手から、再び女の手に奪還する第一歩であった」とありますが、これは具体的にどのようなことを意味していますか。こ

のことに關する本居宣長の貢獻に言及しながら、一六〇字以上一七〇字以内で説明しなさい。(三〇点)

【解答例】

『源氏物語』は女性によって作られ、女性によって享受されてきたが、その一方で男性優位の仏教世界に包摂されてきた。本居宣長は男性優位の価値観を逆転させ、女性的な弱さや愚かさこそが本来の人間の姿であるとした。女性優位の価値観を典型的に示しているのが『源氏』であることで、再び女性が自らの世界で『源氏』を享受する転換点となったということ。(168字)

問十一 波線部に「マンガ罪悪論」とありますが、これに対するあなたの考えを、賛成、反対などの立場を示し、具体的な事例を挙げながら、一八〇字以上二〇〇字以内で述べなさい。(五〇点)

【出題の意図】

設問の条件に基づいた、論理的表現力を見る。

【解答例】

私はマンガ罪悪論に反対の立場である。確かにマンガには好ましくない視覚表現もある。しかし、有益な面もあることは確かである。例えば、『源氏物語』をマンガにした『あさきゆめみし』は、読むことで非常に長い物語の内容が理解できるだけでなく、当時の道具や衣服などが描かれているので、視覚的にも平安時代の世界が理解でき、他の古典作品の理解にも役立つ。マンガというだけで、それを否定するのは短絡的である。(194字)